博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野 科目コード:250008-0

## 老年看護実習2(認知症看護)

担当教員	川島 和代、高道 香織、高梨 早苗、猪口里永子、遠藤 英俊				
実務経験					
開講年次	1年次後期·2年次前期	単位数	4	授業形態	実習
必修・選択	選択	時間数	120		
Keywords					
学習目的・目標	認知症の高齢者に対し、 看護実践能力を習得す、 病態生理、薬物療法、	、最先端の認知症の診断 る。また、身体疾患を合 、環境の影響など包括的	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	センタ語のでは、	症度の特徴に合わせたに 症度の特徴に合わせた に合いないでは のはこれが のはでは のは のはでは のは のは のは のは のは のは のは のは のは の
	6)			-   症性疾患に特有の課題と	
	7)		る: 専門	bに、他病院や施設・在5 ことができる 月看護師が行う、相談、記 こ参加し、専門看護師の行	- 掲整、倫理調整などにま

## 授業計画・内容

【実習内容・方法】 1.実習期間:1年次後期1~2月に4週間とする 2.実習場所:国立長寿医療研究センター病院 3.実習内容:認知症の診断・治療を受ける高齢者を1名担当する。管理の必要な身体疾患を合併している高齢者を担当する。

期間		内容			
1~4週目 8:30~ 15:30	1) 2) 3) 4)	看護スタッフ及び多職種と連携して、高度な専門的ダイレクトケ アを実践する 医師の包括的な指示に基づいて、高齢者の身体管理に必要な特定 範囲内の診断や診察の技術を実施する 多職種と情報とアセスメントの共有をし、看護の専門的ケアを考 察する 自己の看護実践を実習指導者や指導教員と共に検討する			
2~3週目	1) 2)	認知症専門外来の診察場面の見学 総合機能評価、最新機器を用いた効果測定、認知機能訓練などの 場面の見学を通して、各職種の先進的取り組みを学ぶ もの忘れセンターにおける集団家族指導・相談、地域連携の見学			
3~4週目	専門看護師が行う、相談、調整、倫理調整、教育に参加して説明を受ける。一部、専門看護師とともに実践を行う				
教科書					
参考図書等		適宜紹介する			
評価指標		実習計画・実習への取り組み30%、カンファレンス30%、レポート40%で評価			
関連科目					
教員から学生への メッセージ		フイジカルアセスメント、臨床薬理、病態生理、老化過程と病態の基礎学問をベースにして、認知症の診断から具体 的な高齢者の生活援助、更には地域・家族支援を実践して、認知症の高齢者における看護の役割の大きさを実証して ください。			